

記念誌発行後記

記念事業準備委員長 中込守 第23期

伝統ある千歳高等学校の歴史におけるラグビー部の存在は、ラグビー部部員はもとより部員以外の卒業生にとっても、高校生活における印象に残る思い出のひとつでもあり、卒業後もその戦績等は関心ごとであった強いラグビー部の時代が長く続いておりました。しかしながら現在ラグビー部は部員不足により同好会に格下げとなり活動も十分に行われていない状況です。このような中で千歳高等学校ラグビー部は創部50周年を迎えました。我々ラグビー部OB会はラグビー部50年の歴史を記録として書き残し、全国高等学校ラグビーフットボール大会2回出場の輝く伝統を次代に引き継ぐために、千歳高等学校ラグビー部50周年記念誌の発行を実行することが我々の使命であり、又延ては千歳高等学校ラグビー部の再建に繋るものと確信してこの事業に取り組みました。

そして今ここに立派な記念誌が完成できましたことは、ひとえに千歳高等学校ラグビー部OBの皆様全員の団結した御支持を得られた事と、ご多忙の中御寄稿下された元全日本監督の日比野弘先生を始め多数の方々のご協力を頂けたお陰と深く感謝致しております。又準備委員会の中心となり編集委員を担当してくれた高橋憲二君(33期生)、大池柳二君(33期生)、募金委員を担当してくれた赤根惇先輩(9期生)、高木晴生君(23期生)、石瀬徹君(34期生)、多忙な中

繁雑な事務局をこなしてくれた田畑由紀夫君(29期生)を始めとする各委員の方々の献身的なご尽心がなければ完成できなかったものと、ここにあらためてこの紙面をお借りして敬意を表します。

発刊準備の開始当時にはお元気で完成を楽しみに率先して原稿を書いて下され、又母校ラグビー部は多大な恩恵を賜りましたサクラグループ社主の全鎮植先輩(7期生)、千歳高等学校ラグビー部出身唯一人の全日本代表選手であられた日本ラグビー界の名選手片倉胖先輩(10期生)、夏合宿には必ず参加され母校ラグビー部に人一倍の情熱と愛情を持ってご指導下された松下弘宣先輩(11期生)が、完成を待たずにご逝去されたことは残念でたまりません。本誌を墓前に供え謹んでご冥福をお祈り致します。

現役高校チームの方もクラブ活動に絶大なご理解をお持ちの本間研一校長先生のもと、喜ばしくも今年より筑波大学ラグビー部出身(現役時代はCTBで活躍)の田中裕之先生の着任という光り輝く希望の明りも見えてきておりますので、今後も是非千歳高等学校ラグビー部50年の伝統を誇りとして母校ラグビー部の再建に向けてさらに尚一層のOB諸兄の皆様のご協力をお願い致し、千歳高等学校ラグビー部創部50周年記念事業準備委員長として発刊の御礼の挨拶とさせていただきます。